

思い出の板はがき

場所	団体：クラフト室 家族：サービスセンター前		
時間	1時間～1時間30分		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	クラフト室 席数 48
準備物	【利用者】84円切手、ぞうきん、マジックまたは太目のボールペン（板に書けるペン） 救急用品、活動に適した服装 【自然の家】材料（木の板1枚）、マジカルサンダー、ポスカ（本数、色に限りがあります。） 焼印、スタンプ		

プログラムの概要・ねらい

木の板をはがきにして自然の家から家族や知人等にお便りを出す。また、官製はがきでなくても規制に合っていればはがきとして活用できることを体験しながら理解する。

一人一人のオリジナル作品を作ること、創意工夫する喜びや充実感を得ることができる。

世界に一枚しか無い板のはがきは移動教室の思い出の作品として残していける。

①準備

団体：材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。

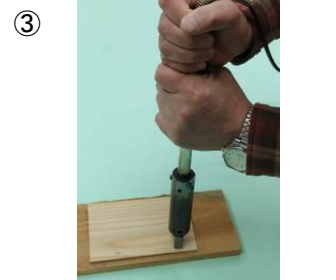
窓を開け、部屋の換気を十分に行う。新聞紙を机の上に敷く。

家族：材料をサービスセンター受付にて購入し、備品を借りる。新聞紙を机の上に敷く。

②実施の流れ

【時間】

- 0:00 説明
- 0:15 板をマジカルサンダーで磨く。（写真①）
マジックテープが付いている面に、ヤスリを貼り付けて使用する。
荒削り用（濃茶色）→仕上げ用（薄茶色）
・表面、裏面（文字を書きやすいように）
・角、縁（けがのないように）
- 0:45 ぞうきんで磨いた粉がなくなるように拭き取る。
- 0:55 はがきの表面を作る。 絵、スタンプ、焼印等、見本のはがきを見せて
・「郵便番号の枠」「POST CARD」をスタンプで押す。（写真②）
※押ししていないものは投函できないので注意
- 1:10 はがきの宛先、裏面を書く。
※はがきだけを作り、文章は後にしても良い
※ポスカを使う場合は、机の上に新聞紙を敷く。
希望者は裏面に少年自然の家の焼き印を押す。（写真③）
※焼き印の取り扱いに注意し、やけどに気を付ける。
※焼き印は温まるまでに15分かかるので、事前にスイッチを入れておく。
- 完成（写真④）
片付け
- 1:30 終了



③後片付け

団体：ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）

工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ申し出る。

クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。

家族：机をきれいにし、備品をサービスセンター受付へ返却する。